



定

一 諸君も人情を以て小治平の
小治平一ははちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
くはる人そのまを治平
と治平恒念物とを治平の
つととてありありと三兆小
三兆二兆とありあり三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
治平一はちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
治平一はちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
治平一はちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
治平一はちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
治平一はちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
治平一はちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

一 百何りれはる小友田島れり
治平一はちりしんをすこぶ
之乞出んぬを幸ひたりしゆり
佐治のこ小治平恒念物より
三兆幸

三兆幸

定

一 諸主人の奉りしり小お及申旨

小若何—子と申りまへたをこ小勝と
言乞出と成出奉りし旨お物包りし
他まへのこ小お成遣金籠りしと申

奉り奉

一 百石りれ立存小立田畠わす成

うにまは人々の立存お成百石と
言お物包見と違毛のう今株
つきと忘りありま奉り下—百石小違
り下二奉りとう人々の奉り

一 自分まはこ小り早お換の田

地わりの一箇小立奉り下を田の
農料よふお成奉り下を成す
りや聖年の毛と成けり換り
下下付り奉りし上を右に成定

しと下二下—下二小つ成奉り

一 百石奉りしをりんま役下成

一 下付の書中、上右の如き

一 下付の書中、上右の如き

一 百有年矣と云ふ見支役下付

一 佛國地におかたをうけいり一隠

一 業ふとりてと云ふ事いふ所

一 事在中一ありいふ事

一 兵國より来る人百有年終り不

一 事と扱して別年矣と云ふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

一 一と云ふ事いふ事

武外より介一切傳事を承りしに

一 其の國の事を友儀以下所したる事
書作より書入れし事か修
但も提方得て時人自見者増
を 上り為 上り作付事

一 小神清海く介の箱うねり人
如仰小女より燵の集りし事
四月一日のいふ事か
のり箱うねり事

一 徳の志きれし人か
此の時思ありし事
ふりし事

一 ちぬく事

一 中司少と年ふひちく事

右降者有遠地へ事
如し

天正四年二月五日